

がん対策に係る提言書

平成24年（2012年）2月24日

日野市議会 がん対策議員連盟

国民の2人に一人ががんに罹り、3人に一人ががんで命を落とす。まさにがんは国民病です。

国は、2006年「がん対策基本法」を制定し、2007年には「がん対策基本計画」を閣議決定し、その中で、2011年度末までに、がんによる死亡者を20%減らすこと、全てのがん患者・家族の苦痛の軽減と療養生活の質の向上を挙げています。その上で、死亡率減少のための個別目標として、がんの早期発見・治療をめざし、胃がん・肺がんなどの検診受診率を50%以上とする目標を設定しました。

日野市では、健康施策のひとつとして「市民が明るく健康で長生きできる健康施策」を展開してきましたが、がん対策に対しては主に、がん検診以外には見当たりません。その受診率も、2010年の各受診率を見ると、大腸がん検診（35%）、乳がん検診（20%）、子宮がん検診（20%）、胃がん検診（3.9%）、肺がん検診（1.7%）と決して高いとは言えない状況です。

日野市議会は、この状況を受け止め、2011年10月、日野市がん対策議員連盟を立ち上げ、全議員参加での取り組みを進めてきました。

市立病院、健康課、ホスピス、在宅での看取りを行っている診療所、訪問看護ステーション、患者会の方々からの聞き取りを行い、中川恵一氏（東大医学部准教授）の講演などを通して、以下のような日野市の現状や課題が見えてきました。

日野市がん対策議員連盟の提言は、医療面だけでなく、社会的な支えを強くすることに主眼を置き、提言をまとめました。

予防期では、がんと闘うために、市民ひとり一人が「がんを知る」がん教育が大切です。そしてひとり一人が予防のための生活習慣の確立、検診による早期発見に努めることです。そのために、市は、対象者への勧奨、がん教育、受診機会の拡充など、積極的に取り組むべきです。

医療との関わり（治療期・地域医療連携・終末期での対策）では、がん患者や家族が安心してがん治療を受けられるような環境を整備する必要があります。

がん患者の6割が「自宅で最後を迎えたい」と望んでいますが、24時間365日の治療体制や緊急時の受け入れ先がないために、在宅治療を行うことが難しい現状です。

市は、患者のニーズに沿った医療を提供できるよう、必要な策を講ずることが求められます。

がん患者、家族への支援は非常に大切です。がんは患者や家族双方に大きな生活の変化を及ぼします。がん難民という言葉もあるように、がん患者や家族が孤立しないような施策展開が求められます。社会的な支えとして、情報面や経済面の支援が必要です。

最後に、今回の提言は、全ての施策を総合的に検討した結論とは言い難いと思います。特記した事項以外にも多くの施策展開が求められ、書き尽くせない事項もあります。しかし、まずは、求められる施策を一步進めるためにまとめたのご理解いただきたいと思います。

がん対策は、多くの先人の命のやりとりの上にあります。私たちは、その命のバトンを受け取り、政策につなげていきたいと思います。そして、次の世代に、そのいのちのバトンを受け渡していきたいと思います。

この提言書が、今後の日野市のがん対策を進める一助になることを期待します。

＜予防期＞での対策

【提言 1】生活習慣など健康対策を進める（一次予防）

- ① 喫煙、糖尿病、高血圧、メタボリック症候群、高コレステロール血症などの生活習慣に起因するがんの減少のための施策展開をする。
- ② 禁煙対策を推進する（条例化、禁煙外来など）。
- ③ 生活習慣病予防の食育施策を進める。
- ④ 適度な運動による健康施策を推進する。

【提言 2】がん検診受診率 50%に向けた施策展開を進める（二次予防）

- ① 通年のがん検診を展開する。
- ② 市の主催するイベントの際、がん検診の取り組みを行う。
- ③ 中小企業向けのがん検診施策を展開する。
- ④ 個人勧奨通知を進める。

【提言 3】女性特有のがん対策の推進

- ① 女性特有のがん対策は、女性スタッフが担う。
- ② 子宮頸がんを予防可能ながんとして、その啓発に務め、ワクチンの公費助成を拡大し、希望者への集団接種方式を導入する。
- ③ マンモグラフィ車による乳がん検診を、乳幼児健診や保護者会で行い、検診率向上を図る。

【提言 4】胃がんの早期発見のため、ピロリ菌の検査を導入する。

【提言 5】特定健診後のフォローとして、保健師を増員するなど、職員体制を手厚くする。

＜治療期＞での対策

【提言 6】緩和ケアを推進する

- ① 全てのがん患者が、がんの発見初期段階からの緩和ケアを受けられる体制を構築する。
- ② 市内医療機関全てが標準的な緩和ケアを提供できるような体制を構築する。
- ③ 終末期の緩和ケアを 24 時間 365 日提供できる体制を構築する。

【提言 7】市立病院の放射線治療の導入の是非について、検討課題とする

- ① 市立病院の放射線治療の導入については、その経済性を市民に示す。高額な機器の導入と専門職員の配置の場合の採算性や、医師、技術者の確保の難しさなど懸案事項を市民に示し、方向性を探る。

【提言 8】がん登録の推進

- ① がん登録は、がん対策を進めるうえで重要な施策となることを鑑み、地域がん登録を進める。
- ② 日野市は、国の施策と連動しつつ、市民のがんの実態を把握するよう努める。

＜地域医療連携＞のあり方

【提言 9】地域の病診連携を強化する

- ① 地域の医療機関との連携を更に強化する。
- ② クリティカルパスの活用を図る。
- ③ 市立病院は、地域の医療機関で在宅医療等を行っている患者の急変時の受けいれ等を行う。
- ④ 地域医療課の新設など健康行政と医療行政を切り離した組織再編を行う。

＜終末期＞での対策

【提言 10】在宅医療のための施策を展開する

- ① 在宅医療の実現のため、市内に在宅医療センターを設ける。
- ② 在宅医療センターは、24 時間 365 日の在宅医療を提供する。
- ③ 在宅医療センターは、がん相談センターを併設し、患者の容態、家族の看護などに対応する。
- ④ 在宅医療に関わる医師を確保する。

【提言 11】訪問看護ステーションの拡充

- ① 在宅医療、在宅での看取りのため、24 時間 365 日体制の訪問看護ステーションを設置する。
- ② 訪問看護ステーションに関わる医療従事者を確保する。
- ③ 医療従事者が安心して働けるように、特に、病児・病後児保育環境を整備する。

【提言 1 2】在宅での看取り（終末期）医療

- ① 在宅医療、訪問看護ステーションのほか、家族の看護に係る多様なサービスを展開する。
- ② 在宅での看取りを理解するための定期的な学習の場を提供する。
- ③ 在宅での看取りをサポートする市民ボランティアを育成する。

【提言 1 3】ホスピスの設置

- ① 市内にホスピスを誘致する。
- ② ホスピスで活動する市民ボランティアを育成する。

＜患者・家族ケア＞

【提言 1 4】相談体制、情報提供を進める

- ① 「がん相談窓口」を設置し、医療面・生活面など総合的な相談を扱う。
- ② 国・都などが作成しているハンドブックなどを頒布する。
- ③ 市のホームページにがん情報サイトをつくる。
- ④ 市独自のがん情報を整備し、市民に提供する。
- ⑤ 図書館にがんコーナーを設ける。

【提言 1 5】経済的な支援

- ① 高額医療費の負担限度額の超過分に相当する資金の貸付制度を検討する。
- ② がん患者の障害認定について周知する。

【提言 1 6】患者会・家族会

- ① それぞれのがんに応じた、患者会を立ち上げ、患者間の情報交換の場を提供する。
- ② がん家族会は、がん患者の家族の情報交換の場として設置する。
- ③ 親のがんを子どもに告知する場合の対応を研究し、施策展開する。

＜がん教育＞

【提言 1 7】がん教育を進める

- ① 小学校 6 年からのがん教育を進める。
- ② 生涯学習や健康施策として、がん教育を進める。

日野市議会 がん対策議員連盟 活動の経緯

- 10月 3日 がん対策議員連盟設立 全議員が参加
- 10月14日 第1回会議 日野市立病院との意見交換
- 10月20日 第2回会議 健康課との意見交換
- 10月27日 第3回会議 市立病院院長との意見交換
- 11月 1日 乳がん患者会 おしゃべり会の見学（参加任意）
- 11月15日 第4回会議 聖ヶ丘病院 ホスピス見学
- 11月16日 第5回会議 立川在宅ケアクリニック見学
- 11月21日 第6回会議 講演会開催
内田絵子氏（乳がん患者会 ブーゲンビリア）
西田正弘氏（キャンサーリンク神奈川）
- 12月14日 第7回会議（中間報告会）
- 12月16日 第8回会議 日野市医師会訪問看護ステーション
現場の看護師との意見交換会
- 1月16日 幹事会「提言書まとめ」
- 1月24日 幹事会「提言書まとめ」
- 2月 1日 幹事会「提言書まとめ」
- 2月 7日 幹事会「提言書まとめ」
- 2月 8日 第9回会議 市議会主催講演会
中川恵一氏（東京大学医学部付属病院放射線科准教授）
- 2月14日 幹事会「提言書まとめ」
- 2月21日 幹事会「提言書まとめ」
- 2月24日 市長へ「がん対策に係る提言書」提出

日野市議会 がん対策議員連盟 名簿

代 表	菅原 直志
副代表	窪田 知子
幹 事	西野 正人
幹 事	清水 登志子

大高 哲史
峯岸 弘行
大塚 智和
奥住 匡人
古賀 壮志
中嶋 良樹
鷗沢 敏子
奥野 倫子
馬場 賢司
谷 和彦
古池 初美
中谷 好幸
中野 昭人
佐藤 洋二
田原 茂
池田 利恵
梅田 俊幸
秋山 薫
江口 和雄

(議席番号順)